

揖斐川町第1次総合計画 進捗状況一覧表

目標Ⅰ：人と自然が共生する快適なまち

施策名(施策の柱)	指標名	頁	単位	H27目標値	実績						指標設定	取組み状況・目標指標への反映など	担当課
					H23	達成率	H24	達成率	H25	達成率			
美しい自然環境を次代へ継承します	間伐実施面積	12	ha/年	300	250	83.3%	125	41.7%	79	26.3%	単年	造林補助金の改正により、切り捨て間伐だけの実施では補助金が交付されなくなったため減少しているが、間伐を促進するためには森林経営計画策定が必要となったため、策定を推進している。	農林振興課
環境への負担を低減します	汚水処理普及(整備)率	15	%	77.0	82.0	106.5%	83.0	107.8%	84.0	109.1%	通年	「広報いびがわ」及び「いびチャンネル」などにより公共下水道・農業集落排水への接続啓発を行っている。	上下水道課
	農業集落排水処理施設利用率		%	40.0	28.0	70.0%	31.0	77.5%	34.0	85.0%	通年	広報などで接続啓発を行っている。H24には施設見学会を実施した。処理施設で発生するバクテリアの死骸と学校給食残渣でコンポスト化を行っている。	上下水道課
	リサイクル率(ごみの資源化率)		%	30.0	27.38	91.3%	27.86	92.9%	26.50	88.3%	単年	平成23年に策定した「揖斐川町一般廃棄物処理基本計画」に基づく、ごみ減量化やリサイクル率向上への具体策を推進した。	生活環境課
災害発生を未然に防ぎます	木造耐震診断の助成件数	18	件	87	61	70.1%	80	92.0%	91	104.6%	通年	広報紙やホームページで制度の周知を図った。	建設課
	木造住宅耐震補強工事の助成件数		件	25	3	12.0%	4	16.0%	6	24.0%	通年	補強工事にかかる個人負担が高額になるため助成事業の申請件数が少ない。補助金の拡充や制度の緩和を行い希望者を募っている。	建設課
さらなる地域防災力の向上を図ります	自主防災組織の組織化済地区	20	全地区	全地区 (現状維持)	全広報区	100.0%	全広報区	100.0%	全広報区	100.0%	単年	町民を対象とした防災リーダー研修会を実施したことにより、地域防災力の向上が図れた。地域での出前講座も行っている。	総務課
	防災訓練参加者率		%	49.0	39.0	79.6%	40.0	81.6%	41.0	83.7%	単年	多様な災害に備えるため、各種訓練を継続して実施していく必要がある。住民が積極的に訓練に参加できるよう訓練内容を再検討する必要がある。	総務課
快適な生活空間を提供します	定住化施策に係る庁内体制の整備	23	-	庁内体制の整備	企業誘致課設置	-	-	-	-	-	-	移住定住化対策として、「田舎暮らし体験事業」や「定住促進事業」を実施した。	政策広報課
	CATV加入世帯率		%	70.0	65.5	93.6%	65.4	93.4%	65.0	92.9%	通年	自主放送(いびがわチャンネル)の強みを活かし、地域未着型コミュニティチャンネルとしてきめ細やかな取材と放送を目指し加入率の増加に繋げる。介護予防普及啓発の番組も継続して放送する。光を利用した事業者の参入もあり加入者獲得に難航している。	放送通信センター
	町道舗装率		%	85.0	85.2	100.2%	85.5	100.6%	85.5	100.6%	通年	徳山ダム関連の未舗装道路の廃止により舗装率が上がった。目標値を達成しているため、今後は毎年0.1%程度の増加を目指す。	建設課
	町道の歩道整備率		%	2.2	2.0	90.9%	2.7	122.7%	2.7	122.7%	通年	幹線町道の歩道整備を計画的に進め、早期に目標値を達成した。今後は、率ではなく歩道延長(km)を数値目標としたい。	建設課
鉄道とバスの利便性を確保します	コミュニティバス利用者数	27	人/年	391,100	354,553	90.7%	351,208	89.8%	340,048	86.9%	単年	鉄道とバスの接続を円滑にするダイヤ調整を行い、利用者のニーズに合わせたバス運行を目指す。	政策広報課
気軽に自然環境を楽しめる場を提供します	住民一人あたりの公園面積	29	m <sup>2</sup> /人	31	29.96	96.6%	29.96	96.6%	29.96	96.6%	通年	人口減によって、結果として目標指標に近づいている。目標指標の見直しが必要と考える。	建設課
公営住宅など魅力ある住宅を提供します	住宅地開発申請件数	30	件	38	19.0	50.0%	19.0	50.0%	19.0	50.0%	通年	鉄道駅や市街地周辺への民間企業による住宅開発が行われるよう条件整備を実施する。	建設課
					平均値	81.1%		83.0%		83.6%			

目標Ⅱ：健康で思いやりに満ちた文化の薫るまち

施策名(施策の柱)	指標名	頁	単位	H27目標値	実績						指標設定	取組み状況・目標指標への反映など	担当課
					H23	達成率	H24	達成率	H25	達成率			
高齢者・障がい者が安心して暮らせる条件を整えます	シルバー人材センター登録者数	32	人	500	366	73.2%	354	70.8%	342	68.4%	単年	各種の広報媒体の活用により広く町民にシルバー人材事業の周知を図り、新規会員の獲得と受注に努める。	福祉課
	介護予防事業参加率		%	33	14.5	43.9%	36.7	111.2%	38.2	115.8%	単年	地域のサロン活動等の住民主体の「生きがい・健康づくり」事業を定着させるよう、専門職等の支援を行う。	福祉課
	地域の見守り体制の整備		地区	組織化 (組織数を増やす)	12	-	16	-	16	-	通年	町内11地区で地域福祉懇談会を実施し、見守り体制作りを支援した。引き続き地域福祉懇談会を開催し、地域の見守り組織の立ち上げや活動を支援する。	福祉課
子育てが楽しめる地域社会をつくります	一時預かり保育事業利用者数	35	人/年	600	589	98.2%	341	56.8%	165	27.5%	単年	保護者の諸事情による一時保育をいび幼児園で実施している。利用状況は年によって波がある。	子育て支援課
	障がい児保育利用者数		人/年	120	72	60.0%	120	100.0%	120	100.0%	単年	個別指導計画に基づき、継続的な支援ができるよう実践している。	子育て支援課
	子育て講座参加者数		人/年	1,080	917	84.9%	803	74.4%	805	74.5%	単年	食育講座・親子ふれあい講座・読み聞かせ講座・出前講座を実施している。	子育て支援課
自らの健康を自らが管理できる地域体制を整えます	胃がん検診受診率	38	%	25.0	9.9	39.6%	9.4	37.6%	9.4	37.6%	単年	検診受診の必要性を啓発し、若年者や未受診者への受診啓発を継続する。3年連続未受診者に対し、受診勧奨を実施した。	健康増進課
	大腸がん検診受診率		%	25.0	12.3	49.2%	13.1	52.5%	13.5	54.0%	単年	検診受診の必要性を啓発し、若年者や未受診者への受診啓発を継続する。3年連続未受診者に対し、受診勧奨を実施した。	健康増進課
	子宮がん検診受診率		%	25.0	12.1	48.6%	12.5	50.0%	12.8	51.2%	単年	検診受診の必要性を啓発し、若年者や未受診者への受診啓発を継続する。3年連続未受診者に対し、受診勧奨を実施した。	健康増進課
	乳がん検診受診率		%	25.0	14.7	58.8%	15.4	61.6%	15.7	62.8%	単年	検診受診の必要性を啓発し、若年者や未受診者への受診啓発を継続する。3年連続未受診者に対し、受診勧奨を実施した。	健康増進課
	特定保健指導実施率		%	45.0	27.4	60.9%	40.1	89.1%	23.8	52.9%	単年	住民に生活習慣病予防の必要性を啓蒙し、生活習慣の改善につながるような魅力ある保健指導を今後も創意工夫し実施していく。	健康増進課
	特定検診平均受診率		%	65.0	50.0	76.9%	50.4	77.5%	49.0	75.4%	単年	検診受診の必要性を啓発し、若年者や未受診者への受診啓発を継続する。	健康増進課
	要介護認定率		%	16.0	17.0	98.8%	17.1	98.7%	17.4	98.3%	通年	65歳以上人口に占める要介護認定者の割合 介護予防事業を展開し、要介護者数の増加の抑制を目指す。	福祉課
教育機会を整備・充実します	社会教育施設の利用者数	40	人	500,000	482,300	98.8%	476,948	95.4%	461,549	92.3%	単年	施設は多種存在するが存在場所が点在しているため一体的な利用を考えることは難しい。施設を有効に活用するための効果的なイベントを考案していくことが肝要である。H26に着工となった(仮称)交流センターが生涯学習、文化活動の拠点として多くの住民に利用されることが期待される。	社会教育文化課
	住民一人あたりの年間貸出図書冊数		冊/人	5.9	5.3	89.8%	5.2	88.1%	5.2	88.1%	単年	平成23年度をピークにやや減少傾向にある。現状を維持し、サービスを継続できるよう事業の適切な推進を図る。	社会教育文化課
	一流文化イベント参加者数		人/年	5,000	3,500	70.0%	3,500	70.0%	3,500	70.0%	単年	揖斐川町文化協会とのタイアップにより実施されており町内の伝統芸能の発表会という理想的な形で行われている。入場者数が横ばいであるため、内容の見直しや新たな文化イベントを創設するなどの方策についても検討する必要がある。	社会教育文化課

目標Ⅱ：健康で思いやりに満ちた文化の薫るまち

施策名(施策の柱)	指標名	頁	単位	H27目標値	実績						指標設定	取組み状況・目標指標への反映など	担当課
					H23	達成率	H24	達成率	H25	達成率			
生涯にわたるスポーツ・レクリエーションに親しむことのできる環境整備を進めます	総合型地域スポーツクラブの設置	41	-	設置	未設置	-	未設置	-	未設置	-	通年	総合型地域スポーツクラブは、平成9年に取り組んでいるが、それ以降発展性がない。委員会設置は最優先ではあるが、事業の拡大をすることから始めてゆく方策も視野に入れ検討する。	スポーツ振興課
	トレーニングルーム利用者数		人/年	15,000	14,134	94.2%	12,096	80.6%	13,401	89.3%	単年	国体などにより町民のスポーツへの意識が高まった。利用者についても継続者が安定しており健康への意識が高まってきている。トレーニング器具の更新に加えエアロビクス教室やヨガ教室なども継続開催し利用者の安定利用につなげたい。	スポーツ振興課
住民の自主的な文化活動を支援します	伝統芸能保存会等の会員数	43	人	1,500	1,250	83.3%	1,250	83.3%	1,250	83.3%	通年	地域に伝承されている太鼓踊りなどの無形民俗文化財に対して補助金を交付し、伝承活動の支援をしている。	社会教育文化課
子どもの安全性と学習環境の魅力を高めます	通学時に発生した事故件数	45	件	0	4	0%	5	0%	4	0%	単年	各学校で交通安全指導を行ったが登下校中に交通事故が4件発生した。安全への意識を高めていく取組みを継続して行う必要がある。	学校教育課
確かな学力の定着と思いやりのある子どもを育てます	地域の伝統行事を教育課程に取り入れている時間数	47	時間/学年	22 (現状維持)	19	86.4%	22	100.0%	22	100.0%	単年	総合的な学習や生活科の時間で地域の伝統芸能の伝承や地域行事(祭り)などへの参加に取り組んでいる。いびがわマラソンのボランティアにも参加している。	学校教育課
	小学校におけるALT活用時間数		時間/月	40 (現状維持)	40	100.0%	40	100.0%	40	100.0%	単年	ALT5人配置により全ての時間にチームティーチング指導が可能となり、学習活動の工夫改善によって外国語によるコミュニケーション活動への意欲の醸成につながっている。	学校教育課
	中学校におけるALT活用時間数		時間/月	70 (現状維持)	70	100.0%	70	100.0%	70	100.0%	単年	ALTを5人体制とすることで英語に触れるコミュニケーション活動の時間を確保し、活動内容の定着を図ることができた。	学校教育課
特色ある学校づくり・地域に開かれた学校づくりの実現をめざします	地域人材の活用者数 (住民講師による授業の実施)	49	人/校	80 (現状維持)	80	100.0%	80	100.0%	80	100.0%	単年	総合的な学習の時間やクラブ活動などにおいて地域人材を活用して授業等を実施している。	学校教育課
子どもの活動できる場所づくりを進めます	学童保育の実施校数	51	校	9	5	55.6%	5	55.6%	5	55.6%	単年	揖斐・大和・北方・清水・小島小学校で実施 対象児童：1～4年生 夏休みは6年生まで 希望者の少ない小規模校での実施は難しい。	子育て支援課
	長期欠席児童・生徒数		人	0 H22は21人	17	19.0%	19	9.5%	19	9.5%	単年	具体的な対応の方法を明らかにし、学校の相談体制作りを推進し、不登校の未然防止に努める。	学校教育課
	スクールカウンセラー等の人数		人	12	6	50.0%	15	100.0%	12	100.0%	単年	現在は全中学校にスクールカウンセラーを配置。24年度からは、スクール相談員を増員して巡回を含め全ての小中学校に対応できるようにした。今後も学校全体での教育体制の確立を目指していく。	学校教育課
平均値						69.6%		74.5%		72.3%			

目標Ⅲ：ふれあい豊かな活力に満ちたまち

施策名(施策の柱)	指標名	頁	単位	H27目標値	実績						指標設定	取組み状況・目標指標への反映など	担当課
					H23	達成率	H24	達成率	H25	達成率			
特色や魅力を生かした集客力の向上を図ります	体験学習プログラム参加者数	54	人/年	5,500	6,052	110.0%	4,473	81.3%	4,321	78.6%	単年	実のなる木を植える活動や、下草刈り、清掃など、自然環境保全を目的とした活動の参加者は増加傾向にあるが、プログラムに基づいた体験学習の参加者が若干減少した。	水源地域ビジョン推進事務所
	着地型観光旅行商品の開発・商品化		-	商品化	-	-	1	-	1	-	通年	NEXCO中日本がダム周遊バスツアーを企画した際、徳山ダム管理所と調整を行う等の協力を行った。	商工観光課
	観光交流年間入込客数		人/年	2,700,000 (現状維持)	2,225,559	82.4%	2,052,322	76.0%	1,943,394	72.0%	単年	年間入込客の減少に対応するため、揖斐川町の観光情報の発信を強化したい。	商工観光課
	ホームページ開設観光関連施設数		%	観光関連施設の100%	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%	通年	ホームページコンテンツのブラッシュアップやモバイル向けの情報発信を充実したい。	商工観光課
おもてなしの心の醸成を図ります	イベントの年間集客数	57	人	220,000 (現状維持)	186,636	84.8%	180,199	81.9%	164,810	74.9%	単年	厳しい経済環境の中においても、開催したイベントは着実な集客に結びついている。今後も、イベントを実施する際には事前に十分なPRを行い、更なる集客につなげたい。	商工観光課
ものづくり体制と活動を強化します	ぎふクリーン農業表示制度登録面積	58	ha	1,399 (現状維持)	1,419	101.4%	1,587	113.4%	1,587	113.4%	通年	化学肥料および化学合成農薬の使用量を30%以上削減した栽培を進めている。	農林振興課
町外との道路ネットワークを強化します	国道の2車線化未整備延長(303号)	60	km	0.3	0.0	100.0%	0.0	100.0%	0.0	100.0%	通年	坂内川上地域の2車線化が完了し目標は達成したが、国や県への働きかけを継続する。(鉄嶺トンネルの整備要望)	建設課
	国道の2車線化未整備延長(417号)		km	3.6	4.2	0.0%	4.2	0.0%	4.2	0.0%	通年	国や県への働きかけを継続する。	建設課
鉄道やバスでの来訪のしやすさを高めます	養老鉄道揖斐駅乗降客数	63	人/日	1,830	調査なし	-	1,615	88.3%	調査なし	-	単年	沿線市町で活性化協議会を組織して支援を続けている。	政策広報課
経営改善への支援をします	農業生産法人数	64	法人	11	8	72.7%	8	72.7%	9	81.8%	通年	地域活性化アドバイザーを雇用し、法人の設立や認定を目指す農業者の指導・助言を行う。	農林振興課
	認定農業者数		人	91 (現状維持)	87	95.6%	87	95.6%	86	94.5%	通年	認定農業者の若返りや農地の集積化を図り、農業の活性化と農地の保全を進めていく。	農林振興課
	1事業所あたりの年間出荷額		百万円/年	H23実数値の現状維持	533	-	558	104.7%	-	-	単年	小規模事業者の経営基盤強化のためには、中小企業融資保証制度を有効に活用していくとともに、プレミアム商品券発行事業を継続し、消費拡大に対して援助していく必要がある。	商工観光課
6次産業を推進します	6次産業に取り組む事業者・団体等の支援件数	66	件	5	1	20.0%	4	80.0%	4	80.0%	通年	6次産業に取り組む事業者、団体に研修会等を県と連携して開催し、商品の開発と流通のための支援を実施することにより、農業の活性化を図ります。	農林振興課
就労の場の確保と社会参加の促進を図ります	支援事業による創業・起業件数	68	件/年	10	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	単年	就労の場の確保と併せて定住化を促進するため、企業誘致を積極的に推進します。	政策広報課
					平均値	69.7%		76.5%		72.3%			

目標Ⅳ：住民とともに考え、新たな地域づくりを実施するまち

施策名(施策の柱)	指標名	頁	単位	H27目標値	実績						指標設定	取組み状況・目標指標への反映など	担当課
					H23	達成率	H24	達成率	H25	達成率			
計画づくりと事業実施への住民参画を実施します	新たに協働事業として取り組んだ事業数	70	事業	10	0	0.0%	1	10.0%	3	30.0%	通年	地域の住民と協働で「地域力の向上」につながる取り組みを目指す。	政策広報課
	新規に登録した国際交流ボランティア数		人	15	4	26.7%	9	60.0%	13	86.7%	通年	いびがわマラソンにおけるセントジョージ市との交流がきっかけとなって国際交流に関わるボランティア数が増加の傾向にある。	政策広報課
男女共同参画社会づくりを進めます	各種審議会・委員会への女性参加率	71	%	40.0	32.7	81.8%	30	75.0%	31	77.5%	単年	男女共同参画基本計画を策定した。男女に関わらず幅広い年代への啓発活動を行う。	政策広報課
コミュニティ自治を強化します	自主提案事案件数	72	件/年	20	16	80.0%	11	55.0%	8	40.0%	単年	特色ある地域づくり事業を展開。地域の行事が復活するなど一定の効果は上がっている。	社会教育文化課
計画的な行政運営を行います	PDCAマネジメントサイクルモデルの導入	74	-	導入	未	-	未	-	未	-		公共施設の運営に対してPDCAのマネジメントサイクルを導入する。財務書類4表の作成に合わせ、施設評価票を作成することで実施する。	政策広報課
	定員管理適正化計画の達成率		%	100	78	78.0%	92	92.0%	94	94.0%	通年	計画より1年早く目標を達成する予定である。今後は新たな定員管理適正化計画を策定して行政経営に必要な職員確保を行って行く必要がある。	総務課
	※目標指標全体達成度		%	85	71.3	83.9%	78.5	92.4%	78.2	92.0%		大きく低下した指標によって全体の達成率を押し下げているが、指標によっては上がっているものも見られる。目標達成に向けての対策が必要である。	政策広報課
	行政コスト改善(経常収支比率)		%	82.0	78.1	121.6%	73.1	149.4%	73.9	145.0%	単年	経常経費や人件費の抑制による行政コスト改善を継続する。	財政課
わかりやすい行政情報を積極的に提供します	ホームページ新着情報掲載件数	77	件/年	145	96	66.2%	172	118.6%	178	122.8%	単年	目標は上回ったが、依然として情報を更新していない部署もある。引き続き啓発や研修を行う必要がある。他にも情報提供を積極的に行っている。平成24年度末にはLINE(SNS)もスタートした。	政策広報課
					平均値	64.8%		80.0%		85.1%			